



悠久会 埼玉支部 会報

新潟大学 工学部 同窓会

(第12号)

発行：悠久会 埼玉支部

発行者：支部長 田島富二夫 (子43)

編集者：副支部長 鯨井 和幸 (電47)

発行日：平成22年5月2日

悠久会 埼玉支部 総会(第16回)のご案内

拝啓 新緑の候、支部会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

いよいよ本年は、埼玉での全国総会の開催年となりました。7月17日(土)の開催に向けて最終の準備に追われる状況になってきております。支部会員の皆様には、ぜひ地元での全国総会にご参加頂きたくお願いいたします。と同時に、実行委員会のお手伝いも頂きたくぜひともご協力をお願いいたします。

さて平成22年度の悠久会埼玉支部総会を、下記のとおりご案内いたします。当日は、母校・本部ならびに近隣支部から、多数のご来賓をお招きいたします。ご多忙とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

尚、準備の都合上、5月22日(土)までに到着しますよう、同封の葉書にてご出欠のご連絡を頂きたくお願いいたします。

敬具

記

1、日時 平成22年6月5日(土)11:00~16:00

2、会場 東晶大飯店

住所 さいたま市大宮区宮町2-28 あじせんビル3F

電話 048-644-0881

交通 大宮駅(新幹線・高崎線・宇都宮線・埼京線等)

東口より徒歩5分

3、式次第

第一部 総会 11:00~12:50

母校・本部近況紹介 他

講演会 (12:00~12:50)

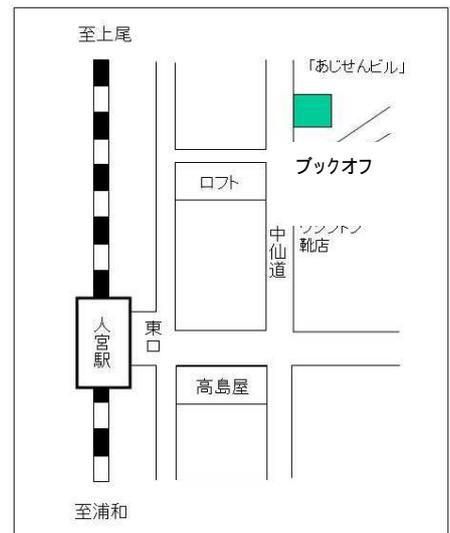
「産業考古学から見た近代産業の歴史研究と
現代的役割」... 群馬支部 原田 喬(精39)氏

第二部 懇親会 13:00~16:00

(以前より、1時間ほど早まっています。ご注意ください。)

4、会費 8,000円

(但し、新卒会員の方は無料、...ご招待とさせていただきます。)



尚、返信用葉書にはメールアドレスの欄がありますが、勤務先/ご自宅とも支部からのご案内を差上げて支障の無いアドレスをお書きください。(両方でもかまいません)

ご返信の宛先は、埼玉支部・副支部長(広報連絡担当) 大友 眞(機52)宛となります。

支部年会費 納入のお願い

埼玉支部の年会費は2,000円です。支部総会案内や会報の作成・印刷他、連絡費用等の活動資金です。同封の郵便振替用紙をご利用ください(通常払込料金無料)。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証としてぜひご納入いただきますようお願いいたします。

ごあいさつ

埼玉支部 支部長

田島 富二夫（子 43）

悠久会の皆さま！ご健勝にてご活躍のことと存じます。

今年の支部総会は6月5日に東晶大飯店で開催されます。また、今年の7月17日、18日は埼玉支部が幹事で、『ふれあい・さいたま 総会』と称してふたたび全国総会を開催することで実行委員会を立ち上げ、準備を進めているところです。

支部総会・全国総会へ大勢の皆さまがご来場下さるようご案内申し上げる次第です。

支部総会は全国総会を成功させるための決起集会的な位置付けで開催致します。

この支部総会を大勢の参加のもとで成功させ、今年の全国総会へ埼玉支部会員の皆さまが大挙して駆けつけてくれるよう相互に声を掛け合い、働きかけて頂き、1人でも多くの方が参加されることを期待し、お願いを致すところです。

支部総会では近代日本の黎明期の産業や技術の掘り起こしを行っている『産業考古学者』で東京国際大学非常勤講師の原田 喬氏(精密39卒)に『産業考古学の面からみた日本の近代化と今日的課題』と題して講演をお願いしました。経済の発展と現代日本の基礎となった黎明期日本の産業の果たした役割を、揺れ動く日本と世界の産業・労働界、活動期に入ったと言われる現代の地球の現状を年頭におきつつ、産業の歴史を振り返ってみることは有意義なことでしょう。講演をご期待下さい。

6月5日、大宮の東晶大飯店でお会いしましょう。

7月17日(土)には、「ラフレさいたま」に集まろう

「ふれあい・さいたま 総会」実行委員長

的場 義夫（応 40）

悠久会時報117号(4/30発行)が既にお手元に届いている頃ですが、全国総会では、埼玉支部の皆様にも同窓会に参加して「楽しかった」「良かった」「また参加したい」と思って頂けるよう、各種の企画を準備中です。

企画の内から目玉を3つ紹介します。

< 講演会 >

NHK制作技術センター、チーフエンジニアの山崎順一氏から「月周回衛星『かぐや』に搭載されたハイビジョンカメラ開発秘話」と題して講演をお願いしています。

素敵な世界初の月からのハイビジョン映像を大きなスクリーンで見ながら、それを可能にしたNHKのカメラの「秘密」を明かして頂けるようです。

ロケットで打ち上げられ、真空の宇宙にさらされる機材には、「想像を絶する厳しい環境が襲いかかる」。この苛酷な悪条件を技術的に如何に克服したのか…

工学部卒業の皆様には聞き逃せないお話が聞けるものと期待しています。

< 懇親会 >

埼玉在住の皆様には既にお馴染みの秩父夜祭りの屋台囃子を、保存会「高野右吉と秩父社中」による勇壮な演奏で、夜祭りの映像を見ながらお楽しみ頂きます。

< 観光 >

ウォーキングコース「氷川の杜と武蔵の歴史を訪ねる旅」

埼玉支部の中心行事になっている「ふれあいさいたまウォーキング」を、全国の同窓生の皆様にも体験していただくと思い、ウォーキングコースを企画しました。

ラフレさいたまから、武蔵一宮の氷川神社に詣で、さくらの名所大宮公園を経て、県立「歴史と民俗の博物館」を見学し、国の内外から多くの観光客を集める盆栽村に向かうルートです。

埼玉在住でも、普段は行くことが少ないのでは…

このように「同窓会は楽しまなければ損…」をモットーに準備を進めています。

埼玉支部会員で80人強の参加を期待しておりますので、総会当日のみならず準備段階でのお手伝いを切にお願いする次第です。

皆さまのご協力をお待ちしております。

ご指導頂いた工学部の先生方と

寄稿

悠久会の思い出

新潟大学東京イノベーションクラブ常任理事

上野 彰（電 37）

今年 3 月 23 日に ANA クラウンプラザホテル新潟で恒例の卒業祝賀会があり、出席した。ふと、48 年前に卒業した時の事が思い出された。長岡のキャンパスでの思い出は、講堂でのダンスパーティー、寝坊して始業時間にぎりぎりに駆け込み、百間廊下の遠く先に見える授講の先生の後ろ姿、正門の門柱よりも高く積もった雪、その雪が消え見事に咲き誇る「どうだんつつじ」などなど走馬灯のように、思い出される。

昭和 37 年 3 月の卒業式は新潟市で行われ、その後、バスで長岡へ行き、その夜、悠久会の卒業祝賀と歓送会が長岡の料亭「寿楽」で開催された。芸者衆が入り、賑やかであった。その会合で、当時電気工学科の松川教授と同期で昭和 5 年電気工学科を卒業の樺澤義治先輩をその席上、松川先生から紹介を受け、一献いかがですかと酒を頂いた。松川先生から、新宿で樺澤特許事務所を運営され、業界では有名な方である事、特許関連で何かあったら相談に行きなさいと、多分その時名刺を頂いたと記憶している。

私は卒業と同時に、電気通信関連の会社へ入社し、研究・開発等に従事し、丁度、昭和 50 年代に、長岡技大に異動された津端先生とあるデバイスの共同開発をする事になった。その中でグラフト重合技術の導入が必要で、新大応用化学でこの関連技術を取組まれた大北熊一先生（現在坪川教授がこの技術を引継いで推進させている）から、この技術指導を頂く事となった。当時、大北先生は既に退官され、千葉に在住しており、会社へ月 1 回程度来て頂き、この関連開発担当者へ技術指導をして頂いた。大北先生のご指導は研究を進めて行く課程で、実験結果から、明快なる論理展開、その関連の文献など、『いつ頃の学会で発表された論文が参考になるので、今日帰宅したら、探して送るから』とおっしゃり、翌日には FAX が届くという早業、特許の海外出願では英文の原案を作成し、夕方 FAX で先生宅に送ると翌朝、メタメタに加筆訂正されて、返信されてくる。（後に先生からお伺いしたが、特許は 1 日遅れて、他社が出願する事がある。先生は徹夜で添削された）社内の担当者が大北先生とお会いするのは怖いと言うほど親身になってご指導頂いた。この関連特許を出願するのに、有機化学の分野であり、従来、知財関係は会社で長年継続的にお世話になっている特許事務所は技術分野が電気通信関連で、新規に特許事務所をどこにすべきか会社の技術顧問と相談したところ、樺澤特許事務所を紹介された。大北先生にその事を相談したら、松川先生の同期で弁理士会の会長をされた事務所であり、新大工学部応化昭和 28 年卒の山田美智子氏が入所しており、有機化学分野は相当力がある。但し、初代の樺澤義治所長は他界されており、そのご子息が所長をされているが、その所長は弁理士会の会長で、評価は高い事務所であるとの話を聞き、忘れていた卒業祝賀会で、お酒を注いで頂いた、あの大先輩の所である事を思い出した。

早速電話で樺澤襄所長に出願などお願いしたいと申し込み、山田氏を付けて頂き、特許出願を行った。樺澤特許事務所は特許の内容で、実施例などデータから厳しく論理性、新規性、進歩性など議論をした上で、出願手続きに入る。担当者に山田氏が「親子 2 代の弁理士会の会長をする事はそれなりに実績評価の責任がある」と言われたとのこと。海外出願も含めて大変お世話になり、樺澤襄所長は父親の所長室をそのまま残されており、謙虚な、何時も率直に飾り気もなく相談を受けて頂いた事に感謝している。

多くの先輩方からお聞きした話であるが、樺澤先輩は当時、卒業生で就職先が決まらないうと、事務所へ来て弁理士の勉強をなさいと言って、多くの卒業生が弁理士になっている。時々、長岡に来訪され、若い工学部の先生が博士論文などに取り組んでいると、夏休中に軽井沢の別荘で、女中を付けてやるからそこで論文を書くように進められ、無事博士の学位を取得された先生がおられた。

時々長岡に来訪され、若い先生方を連れ出して酒を飲み、再びキャンパスに来て、先生、学生がどのように研究をおこなっているか？などと夜に校門に入った。そして植え込みにオシッコをしたところ、守衛から「もしも、こんなところで、オシッコをされたら困ります。即、門の外に出て下さい」と言われたが、樺澤先輩は「僕はこの学校の卒業生であり、植え込みに肥料をやって、すくすくと立派な植え込みになってもらいたいので、他での用足しを我慢して、母校愛で今ここにしている。何がもしもしか？」と言って、守衛と先輩は大笑いとなったとの逸話があったと聞いている。いずれも懐かしいキャンパスでの出来事として深く脳裏に焼き付いていることである。

私は昭和54年4月に六花寮A館1階に入寮した。当時の六花寮には「嘘コン」と称する新入寮生を歓迎する儀式があった。早朝に起床させられラジオ体操から始まり、談話室で階全員参加での朝礼がありメンバーの点呼と階代表者の挨拶と訓辞に始まり、夜は20時に集まり点呼と先輩の訓辞があり、解散後21時には消灯という大変堅苦しい生活の規則を強いられた。朝礼時の司会の先輩の動作がぎこちなかったのが不審に感じられた。素直だった自分はこのような規則正しい生活も悪くないとすっかり騙されてしまっていた。3日目の夜の集まりで、先輩諸氏がいきなり砕けた態度になって「今までの嘘だから」と言われ最初何を言われているのか判らなかつたが、この取り組みが新入寮生の歓迎の一貫として入寮生をからかっていただけだと判りあせんとすると同時に度肝を抜かれた。大学の寮とはこんなことまでするのかと感じた一方で、責任さえとればなんでも自由にできるということに、これまでの規則にしばられた未成年の狭い世界を抜けて、一步大人の世界に踏む込むことができたことを感じて嬉しかった。当時は8つある階のうち2つの階でこの歓迎の儀式を行っていた。

新入寮生歓迎の宴会のあった夜に、新潟の他の交流のある複数の学生女子寮をはしごしてストームをおこなったことが、気恥ずかしくも懐かしく思い出される。「やーやーやー、遠からん者は音にも聞け、近くば寄って目にも見よ、我こそは六花寮A館1階の新入寮生斎藤司なるぞ……」で始まる自己アピールを酔った勢いで夜の女子寮の入り口で女子寮生達が見守る前で恥ずかしげもなく行った。

新入寮生の歓迎の行事でゴールデンウィークの頃に夜行会という新潟界隈の交流のある女子学生寮の寮生と弥彦まで夜通しで歩く行事があった。弥彦神社に早朝に到着し、そこで朝食をとってさらに希望者はそのまま弥彦山の頂上まで登った。一晚30Km以上の距離を歩き通して疲れているうえに山に登るのであるから大変ハードであるが、若さ故であろうか登ってしまうことができた。ロープウェイで下山したら下では弥彦公園の満開の八重桜が美しかった。私はこの夜行会が大変好きで、4年連続で参加して4年連続で弥彦に登った。女子寮の学生と一緒に夜を徹して歩くのは、胸がときめく楽しいひと時であった。

寮生活の中で何よりも感慨深いのは寮歌である。入寮直後の数日間毎晩食堂に集められて寮歌を半ば強制的に覚え込まされた。しかし一度覚えると、コンパや飲み会の折に触れて寮歌を歌い込むことが楽しく、在りし日の先輩寮生の心情が伝わってきて大変味わい深いものを感じた。「頌春の歌」は大変気に入っていたが、歌の後半でかつての寮生が抱いたやがて訪れるであろう戦争への不安とそれを避け得ないことへの悲しみが伝わってくるところがもの悲しく、一層、感慨深いものを感じさせた。

寮自治会では、寮生大会を寮生の2/3の参加をもって成立とみなし、過半数で議事を可決していた。それをもって寮の憲法たる寮生規約を自分たちで定めて遵守することで、自分達が寮を運営しているという気概を感じたものだった。寮自治会の活動が、ある意味初めての民主主義を体で体験する機会になったが、この体験で自分たちで自発的に考え、自主的に責任をとって行動してゆくという自主自立の精神や民主主義に対する理解が醸成され人格形成にも大変プラスであったように思う。

六花寮はすべて相部屋であるが、部屋の真ん中を家具やカーテンでしきろうとしたら同室の先輩にしかられた。今にしておもうと心の壁であり、その壁を外すことでより心の通う交流ができるようになり人間的に成長できたのではないかと思うと当時の自分は本当に未熟であったと思う。最終的には先輩との間はしきりをつくり、同期で相部屋になった友人とはカーテンも引かず同じ空間を共有することになった。いつも仲間がそばにいてくれる暖かみと安心感があり有意義で楽しい生活を送ることができた。昨今の就職難では学生のコミュニケーション能力が不足している事が採用合格のネックになっているが、このような寮生活を送るとコミュニケーション能力も醸成され就職に有利になるとわれ、あらためて寮生活の場が人格形成の大切な教育の場であると感じられる。

少し前に地元の地方紙面に六花寮が廃寮になるとの記事が載り、寮の文化や寮歌が完全に失われるのではないかと大変危惧した。最近新潟に行く機会があり大学の広報室を訪ねてお聞きしたら、廃寮ではなく関屋地区から五十嵐地区へ新築して移転させ、寮の文化や寮歌・自治会などは可能な限り残す方向であるとのことであった。ただし学生の気質が以前と異なり、院生や留学生を受け入れる必要性など時代の要請もありこれまでと同じには行かないとのことである。寮歌や寮文化、寮自治会など良き伝統が少しでも後に伝承され、六花寮が魅力ある寮として存続発展すると同時にそのような寮を擁する新潟大学が魅力ある大学として発展していったらいいと祈らずにはいれない。

「ふれあい・さいたまウォーキング」活動報告

埼玉支部 副支部長

出井 道夫（機 52）

埼玉支部の恒例行事になっています「ふれあい・さいたまウォーキング」の活動を報告致します。1年間に4回のウォーキングを行いました。最近は毎回、埼玉支部以外からも参加があります。

第27回 嵐山溪谷を訪ねる旅

期日：平成21年7月4日

埼玉県のほぼ中央に位置し、山や溪谷の自然にめぐまれた嵐山町を、18名の参加者で訪ねました。

昭和初期に、嵐山溪谷周辺が、京都の嵐山の風景によく似ていると言われ、武蔵嵐山と命名されたそうです。

嵐山溪谷は、水と緑に包まれ訪れる人も少ない、ひっそりとした癒しの空間でした。



第28回 奥多摩 御嶽神社と日の出山を訪ねる旅

期日：平成21年9月12日

埼玉から足を伸ばして、奥多摩を訪ねました。御嶽神社から日の出山へのハイキングです。東京支部からの参加も得て、10名でした。御嶽神社は山頂にありますが、ケーブルカーが利用できますので、手軽に登れます。

山を下って、日の出町公営の「つつる温泉」で、一汗流しました。温泉の後のビールは最高でした。



第29回 所沢・航空公園を訪ねる旅

期日：平成21年11月29日

晩秋の所沢の街を、12名で歩きました。所沢は明治時代に日本で最初の飛行場が作られた、航空発祥の地です。

航空公園は、かつての飛行場の跡地に、開園されました。

園内には四季おりおりの草花や、各種の施設も整っています。航空発祥記念館では、実物機の展示や、飛行機の歴史、航空技術の説明など、子供から大人まで楽しめます。



第30回 小江戸川越 七福神巡りの旅

期日：平成22年3月6日

あいにくの天気になってしまいましたが、川越七福神巡りに14名の方が参加されました。小江戸川越ウォーキングの中でも、七福神巡りはポピュラーなコースです。今回は七福神だけでなく、時の鐘、菓子屋横丁などにも立ち寄りしました。小雨模様の天気にもかかわらず、観光に訪れる人は多く、人気のある街です。



埼玉支部では今後も季節毎に、「ふれあいウォーキング」を計画します。興味のある方・参加希望される方には、案内をEメールでお送りしますので、お気軽に下記アドレスにご連絡下さい。県外支部や他学部からの参加も大歓迎です。同窓生と気楽に歩いてみませんか。

連絡先：出井（機52）：kwgid@pop.kcv-net.ne.jp

***** 支部・編集子からのお知らせ *****

今年度の悠久会・全国総会は、『ふれあい・さいたま 総会』です。

現在、実行委員会は約20名弱の方々の手で準備を進めています。
実はもっともっと多くの方に、お手伝いを頂きたいのです。
可能な方は、田島支部長・的場委員長ほかお知り合いの実行委員の方にお声をおかけください。

田島(子43): f-tajima@juno.ocn.ne.jp
的場(応40): y.matoba@jcom.home.ne.jp

全国総会・観光案内役を募集しています。

全国総会翌日の観光旅行で、「ウォーキングコース」/「鉄博見学コース」の2コースを予定していますが、各々のグループ案内役を募集しています。

ご案内役を受けていただける方は、出井副支部長までご連絡ください。

出井(機52): kwgid@pop.kcv-net.ne.jp

来年以降の全国総会開催地は、以下の予定です。

- ・ 平成23年 静岡
- ・ 平成24年 神奈川
- ・ 平成25年 新潟(90周年)
- ・ 平成26年 日立・鹿島(協同開催)
- ・ 平成27年 京滋
- ・ 平成28年 千葉

お忙しい中、原稿を寄せて頂きました 上野 彰様・斉藤 司様 ありがとうございます。
さらなるご活躍を、埼玉支部一同、ご祈念申し上げます。

昨年度(第15回)埼玉支部総会 集合写真です。



6月5日(土) AM11:00 「東晶大飯店」で、お待ちしております。